

平成 26 年 度 事 業 結 果 報 告 書

事 業 名	実 施 事 項	実 施 内 容
1 調査企画事業	情報の収集及び分析	○ 海域レジャー及び海域レジャー関連イベント等に関する一般的情報を収集した。
	専門部会活動の推進	○ カヤックガイド協会総会、で意見を挙げた。 ○ 新規事業に向けてOMS B活性化委員会を、6回開催した。
	OMS B ホームページの内容充実	○ 安全対策だけでなく、サービス面の苦情に関する注意書きを掲載するなど利用者への情報提供の内容を充実させた。
2 受託事業	水難救助員及びガイドダイバー等講習事業	○ 「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例」第20条に規定する水難救助員及びガイドダイバー等に対する講習を、公安委員会の委託を受けて実施した。 《講習内容：平成26年度》 (1) 水難事故発生の現状と対策 (2) 一次救命措置（心肺蘇生法、AEDの使用） (3) 水中生物の危険性と対処法について ○ 開催期日、場所、受講業者及び受講者数 ・10月24日（座間味村振興センター） 24業者 36名 ・10月29日（宮古島公民館） 12業者 16名 ・10月31日（石垣市福祉センター） 20業者 24名 ・3月2日（読谷村文化ホール） 19業者 41名 ・3月6日（21世紀の森体育館） 17業者 27名 ・3月13日（トラック会館） 7業者 24名 合計 99業者 168名
	優良事業所審査事業	○ 「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例」第25条の規定に基づく安全対策優良海域レジャー提供業者指定に係る「安全対策基準の審査」を公安委員会の委託を受けて実施した。 《審査実績：平成26年度》 件数・127件
	海域調査事業	○ 「沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例」第21条に規定する海域調査を公安委員会の委託を受けて実施した。 ・調査場所：砂山ビーチ（宮古島市在） ・調査データを基に作成した「海域調査マップ」を海域レジャー提供業者、官公庁等に配付した
3 広報啓発事業	広報啓発活動	○ OMS B ニュース（第118号～125号）を発行し水難事故防止を広報した。
	効果的な広報活動	○ 全日本トライアスロン宮古島大会で、理事長杯を贈呈する等して水難事故防止を広報した。 ○ ホームページに水難事故の発生状況等を掲載して広報を行った。

平成 26 年 度 事 業 結 果 報 告 書

事 業 名	実 施 事 項	実 施 内 容
4 安全対策事業	海域等利用者に対する安全対策情報の提供	○ 県及び関係機関・団体と連携して安全対策情報を提供した。
	海域レジャー提供業者に対する安全対策情報の提供	○ 各地区で開催された水難事故防止推進協議会にシュノーケリング中の事故防止等の安全対策情報を提供した。
	イベント安全対策	○ 海域レジャー関連イベント開催に際し、関係者へ安全対策等を指導した。
	シュノーケリング安全対策五原則の普及	○ シュノーケリング事業者に対し、「シュノーケリング安全マニュアル」を675部販売した。
	シュノーケリングインストラクター等認定事業の実施	○ OMSB認定のシュノーケリングインストラクター講習を実施した。 《講習結果》 SI 9名 (うち、事務局開催9名)
5 健全育成活動事業	安全対策優良業者指定制度の普及、推進	○ 各団体等へマル優業者の活用を推奨した。 ○ マル優業者に対し安全対策優良業者ステッカーの掲示を推奨した。 ○ マル優業者指定有効期間満了1月前を目途に、再指定の推奨をメールにて通知した。
6 収益事業の実施	シュノーケリング安全マニュアルの販売	○ 海域レジャー提供業者等に「シュノーケリング安全マニュアル」を675部販売した。
	安全対策優良業者ステッカーの販売	○ マル優業者に「安全対策優良業者ステッカー」を18枚、販売した。
	シュノーケリングインストラクター等認定事業の実施	○ シュノーケリングインストラクター等の講習、検定及び登録業務等を行った。 ○ シュノーケリングインストラクター等のメンバー資格更新講習を実施した。更新は、17名
	公安委員会委託事業の実施	○ 公安委員会委託の講習事業、審査事業及び海域調査事業を実施した。
	水難救助員認定講習事業	○ 水難救助員を新たに43名認定した。 (うち事務局での認定数は、27名) 認定業者 現在3業者 ○ 水難救助員の更新は、13名